



もろともに

令和5年8月21日発行

学校生活発信中

編集 地域連携コーディネーター

橋浦 優香

文責 副校長 木村 総司



note

小学生に教える 宿題サポートとイラスト教室

7月24日・25日に「サマーチャレンジやまだ」が開催され、生徒が地域の小学生に宿題サポートとイラスト教室を行いました。分かりやすい言葉で丁寧に教えることで、子どもたちの笑顔が自然に溢れていました。



ボート部インターハイで奮闘

7月28日から行われた北海道インターハイボート競技において、男子シングルスカルと女子ダブルスカルが準々決勝進出を果たしました。9月の「新人戦」、「国体」では選手たちの活躍が再び見られることを期待しています。



乳幼児ふれあい体験

夏休み期間中に行われた「乳幼児ふれあい体験事業」では、生徒が町内保育施設を訪れ、保育士の指導のもと育児の基本的な知識や乳幼児の抱っこやあやし方を体験しました。

3 学年 佐々木 桃香さん 子どもとふれあう楽しさや大変さを知る貴重な経験ができ、保育士になりたいと思う気持ちが強くなりました。



高校生が取り組む 地域防災・復興

8月2日「地域防災フォーラム」が岩手大学で開催され、2学年 上林 美玖さん 佐々木 恵麻さんが津波の被害を伝えた「津波碑ガイドマップ」を紹介しました。また、参加校の生徒とのパネル討論では次なる災害への備えを考えました。

児童生徒サミット

8月7日に町内の小中高の児童会・生徒会メンバーが集まり、「児童生徒サミット」が開催されました。サミットではスマートフォンやゲームの正しい利用方法についてのグループディスカッションが行われ、リーダーとして自らができる事について積極的に話し合われました。



Cafe Rias 収穫祭

8月9日にボランティア活動団体 CafeRias のメンバーが企画した「収穫祭」が行われました。当日は小学生から地域の方まで多くの人々が集まり、ジャガイモの収穫からカレーやコロッケなどの料理を作りました。

収穫や調理を通じて参加者同士の交流が活発に行われ、終始楽しそうな笑顔を見せており、年齢や背景を超えた友情と共感を育む貴重な機会となりました。



花火で輝く！ ボランティア活動

8月15日夜空に広がる美しい花火の輝きが、地域の人々を魅了しました。当日は生徒がボランティアスタッフとして会場運営を支えました。出店の補助をした生徒たちの笑顔と意欲が花火大会成功の原動力となりました。

2学期が始まり、生徒たちの活気ある姿に心が躍りました。海の運動会、新人戦、さいかち祭など盛りだくさんの行事に胸を膨らませています。これらのイベントを通して友情やチームワークが深まり、学びと楽しさが一体となった素晴らしい時間を過ごすことでしょう。